

さいたま市立病院だより えがお

Vol.47

消化器内科の紹介



消化器内科部長
金子 文彦

2021年4月より、新任として牟田口医長、瀧本医師、星医師と部長の金子が加わり、金田科長、三浦医長、西尾医師と当院レジデントを経てスタッフになった町田医師、山本医師の計9名体制

となりました。また、今まで消化器内科を引っ張ってこられた加藤先生は内科部長として大所高所よりご指導をいただいております。

消化器内科は内科の中でも最も扱う臓器が多く、検査や手技の多い科です。消化管や肝、胆膵領域に大きく分けられ、それぞれの医師が専門分野を深めています。また、消化器全般の悪性腫瘍に対する化学療法では腫瘍センターの関根先生にご指導いただきながら治療を行っています。現在は新型コロナウイルス感染症のため合同でのカンファレンスを開きづらい状況ですが、外科との連携も良好で、放射線診断科の先生方には画像診断やインターベンション、放射線治療科の先生方にはサイバーナイフなどの治療で大変お世話になっております。当院は、内視鏡だけでなくエコーやCT、MRI検査も最新設備が入り、患者さんに安全で高度な医療が提供できる体制が整っており、基本的に24時間365日オンコール体制で消化管出血や腸閉塞、閉塞性胆管炎など緊急性の高い疾患に対応してい

ます。

消化管領域では、金田科長、牟田口医長が中心となり、西尾医師などの若手医師も加わりESDなどの治療内視鏡に積極的に取り組んでいます。胆膵領域では、瀧本医師、三浦医長が中心となり、ERCPや超音波内視鏡(EUS/FNA)などを行っておりEUS件数は顕著に増加傾向です。肝臓領域では金子部長と星医師で肝腫瘍に対するマイクロ波やラジオ波治療を行っており、良好な治療成績を収めています。消化器レジデントも入り、基礎的な手技の習得から個々に研鑽を積んでいます。

消化器内科として、スタッフの人数も増えたことから内視鏡検査件数を増やしていきたいと考えています。具体的には、他科からの大腸内視鏡の依頼を増やしたいと考えており、各曜日の消化器内科外来に内視鏡予約枠を設定しました。

また、術前の感染症検査でHBVやHCV陽性であった方を拾い上げて治療につなげていく予定です。現在、中央検査科や病院システム部門、医療安全管理委員会、感染対策委員会にご協力をいただき、システム作りをしています。新型コロナウイルス感染症が落ち着かない中ではありますが、ウイルス性肝炎は治療が非常に進歩しており、主治医の負担の少ないできるだけ簡便なシステムを作って、患者さんの治療に繋がりたいと考えております。ご協力の程宜しくお願い致します。

旧周産期母子医療センター棟が 生まれ変わります！

令和元年12月の新病院開院に伴い、その役割を終えていた旧周産期母子医療センター棟が、新たな機能で令和5年（予定）に生まれ変わります。

ここでは、その新たな機能についてご紹介します。

1階 救急ワークステーション

「救急ワークステーション」は、救命救急センターの役割の一つである、医師、看護師、救急救命士等に対する救急医療の臨床教育を行う場としての機能を持った施設です。さいたま市消防局と協力しながら各種シミュレーション訓練やドクターカー連携訓練等の研修を行います。また、病院前救護体制の充実を図るため、ドクターカー運用の拠点としての機能も有しており、さいたま市消防局と連携しながら、ドクターカーの運用を行います。将来的にはドクターカーの24時間運用なども検討しており、将来を見据えていろいろと対応できる施設として整備を行います。

2階 スポーツクリニック（仮称）

当科は、スポーツによる怪我や疾病の治療と運動を通じた健康増進を推進する目的で設立するものです。

特徴として、これまでの損傷した部位を中心とした治療から、心肺機能・栄養管理など全人的に対応し、スポーツ復帰に向けた治療を行います。

また、健康増進では、ドックを通じた運動

能力の評価のみではなく、骨密度、筋肉量、筋力、心肺機能及び栄養面など多方面から評価することで今後の体力づくりをサポートし、「人生100年時代」を推進します。

3階 シミュレーションラボ

医師や看護師、その他メディカルスタッフの臨床現場に即した医療技術の習得や向上を図るため、研修専用施設としてシミュレーションラボを開設します。

各種のシミュレーターを備え、大人数での実習が可能なスペースのほか、実際の病室を模した研修室、座学のための講義室を備え、効率的で質の高い研修ができる施設です。

将来的には、市民の皆様に向けた体験講座の開催など、医療に関する地域交流の場として幅広く活用することも検討しております。



イメージ

院長への手紙のご紹介

さいたま市立病院では、患者さん・ご家族の皆様からお寄せいただいた御礼・苦情・提案等の内容を職員に周知し、改善に向けての資料とさせていただくため「院長への手紙」回収箱を各部署に設置しております。

皆様からお寄せいただいた、貴重なご意見等をもとに、今後も患者さんを尊重し、信頼される病院であるように職員一同努めてまいります。

お寄せいただいたご意見について、一部紹介させていただきます。

皆様からのご意見
病院からのコメント

3 Fにある休憩場所をもっと多くしてほしい。
軽食を食べるのもテーブルが少ないため、不便です。



3階休憩スペースについては、新型コロナウイルス感染症対策として席数を減らしております。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

早めに待たされることが多いので、正確な時間をご教示いただきたい。時間が読めないことが多く、ご考慮いただければ幸いです。



診察までの待ち時間ですが、当日の診察人数や患者さんの緊急性等によって、予約であっても診察時間が前後し、お待たせすることがあります。
外来スタッフに対して、今回のお手紙を受けたことを伝え、診察までのおよその人数等について、患者さんの目線に立ち、丁寧に対応をするように改めて指導しました。

パソコン・スマートフォンで
外来表示盤を確認できます！

or

QRコードを読み取り または YouTubeサイトで「さいたま市立病院 外来表示盤」と検索

【利用上のご注意】

- ・こちらは外来診療の表示盤を配信しています。検査の表示盤は配信されません。
- ・メンテナンス等により予告なく配信を中断することがあります。
- ・緊急時の稼働で稼働が数十分ほど遅延しますので、余裕を持って診察室までお越しください。
- ・ライブ配信は通信禁止エリアでも閲覧可能ですが、通信はできません。
- ・カメラの仕様上画面が湾曲して見えることがありますが、故障ではありません。
- ・配信には別途通信料がかかります。
- ・院内では「Saitama City Free Wi-Fi」が利用可能です。

LIVE

YouTubeを利用した 外来表示盤のライブ配信を 始めました

院長への手紙の中に「外来表示盤が小さくて見づらい」「3階の飲食スペースに外来表示盤がなく不便」といったご意見がありました。そこで、ご自身のスマートフォン等から外来の待ち状況がわかるように、外来表示盤のYouTubeライブ配信を始めました。


院内に掲示してあるご案内からQRコードを読み取り、またはYouTubeサイトで「さいたま市立病院 外来表示盤」と検索してください。

※視聴には別途通信料がかかります。
(院内では「Saitama City Free Wi-Fi」が利用可能です)



▶ YouTubeライブ配信 QRコード

新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします

 以下の症状がある方は、必ず事前に電話連絡をしたうえでご来院いただきますようお願いいたします。

発熱



**強い倦怠感や
風邪の症状**




**においや味を
感じない**




入口で検温をお願いしております



 ご来院の際はマスクの着用をお願いします。



 面会を原則禁止とさせていただきます。

面会は、入退院時、病状説明時、手術当日など、医師または看護師からご連絡させていただいた場合に限りさせていただきます。また、洗濯物等の受け渡しでご来院の際は、病棟入口のインターフォン外側で対応いたします。



さいたま市立病院
住所 : さいたま市緑区大字三室2460
電話 : 048-873-4111
ホームページ : <https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html>

発行: さいたま市立病院 発行者: 院長 堀之内 宏久

アクセス

- ・JR「北浦和駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 15 分)
- ・JR「浦和駅」から
東口 国際興業バス「南台」行き「市立病院」下車(約 20 分)
西口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 25 分)
- ・JR「さいたま新都心駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 30 分)
- ・JR「東浦和駅」から
国際興業バス「馬場折返場」行き 終点下車(約 15 分)、
下車徒歩 5 分
国際興業バス「市立病院」行き 終点下車(約 20 分)
- ・JR「大宮駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 40 分)



※この印刷物は1,200部制作し、1部あたりの印刷経費は60.5円です。